

自発的に勉強する子供



心理学と脳科学の相乗効果で子供は伸びる 宮城 学(伊丹学生交流センター代表)

「うちの子供が勉強しない」と嘆いている方はいらっしゃいませんか。この悩みはあなたただけではなく、多くの保護者が同じように感じている課題です。そこで、この悩みを解決する方法を紹介します。ここで紹介する方法を使って、子供の能力を十分に開花させてあげて下さい。

皆さんは子供に勉強させようと、塾に行かせたり、高価な教材を買ったりしていませんか。周りを見渡すと、このような方法を試したけど、

全く上手くいかないという声をよく聞きます。塾や教材が効果を発揮するのは、学習意欲が芽生えた子供に対してです。学習意欲が芽生える前の段階の子供に対しては、お金を払って子供に苦痛を与えているだけで、親にも子供にもメリットはありません。

三つのポイント

子供に勉強させるには、三つのポイントを満たす必要があります。それは「安心」「環境」「希望」です。

この三つのポイントが満たされた子供は、自ら学習に取り組むようになります。しかも、嫌々学習するのではなく、楽しいから学習する子になります。では、この三つのポイントを詳しく紹介していきましょう。

安心

大人も子供も、生活していく中で考えなければならない事が複数あります。大人であれば、仕事のこと、お金のこと、夫婦関係、子供との関係、子供の成績、親の介護、近所付

き合いなど。書ききれないくらいありますよね。内容は違えど、子供にも考えなければならぬ事が沢山あります。級友との関係、友達との関係、先生との関係、成績、恋愛、親との関係、進学のことなど。

大人も子供も、これだけ沢山の考え事があると、考える順番をつけてはなりません。考える優先順位です。

優先順位の付け方は人それぞれですが、自分の命や生活に関係性の深いものから順位をつけているのが一般的でしょう。お金が不足して解決策を考えなければならぬ時には、それより優先順位の低いことを考えることは一旦保留されるのです。

この思考法則は子供も同じです。特に子供にとっては、「クラス」この世の全て」という程、クラス内での人間関係が重要視されています。一

日の大半を学校で暮らしますから、優先順位が高くなるのは自然な流れでしょう。また、家族（家庭）での人間関係も同じく重要視されています。子供の生活において、学校と家庭がとても重要なのです。勉強より優先順位の高いものに何か問題が発生していれば、学習意欲が湧くはずもありません。まずはこのポイントに対応しましょう。

できるだけ学校と家庭の状況を整えるのが大切ですが、そうもいかない時が多々あります。そんな時は、第三の場所を活用します。学校や家庭で安息が得られない子供には、安息が得られる第三の場所を探してあげて下さい。部活やスポーツチームにあるかもしれません。お稽古ごとにあるかもしれません。どこで安息を得られるかは、恋愛と同じく個人によって異なります。試してみるし

かありません。東中学校では「サタスタ東」という土曜学習会があります。このスタッフは学習指導技術だけではなく、メンタルケア技術も持っています。費用もかからず安全な環境が整っていますので、第三の場所候補に入れてみて下さい。

環境

教育界には「意思の力」を信奉している人が沢山います。ですが、意思の力はそれほど強くありません。自分の意思の力を振り返ってみましょう。ダイエットでも、英語の習得でも、皆さん何かしら挑戦したことがありますよね。いかがでしたか？意思の力だけでは、何かを成し遂げるのは非常に困難なのです。ですの、本人の気持ちだけで勉強するようになると言うのは、保護者や指導者が責任放棄しているのと同じです。

では、人が行動する為のポイントは何でしょうか。それは環境です。読書好きな親の子供は、自発的に読書します。よくテレビを見ている親の子供は、家に帰ったらテレビをつけます。基本的に、子供は親の行動を真似します。子供に望む行動があるのであれば、親が率先して行動しなければなりません。自分のことを棚に上げて子供を叱るような人は、この文章を読んでいないと思います。とはいえ、人は自分のことを最良目で評価してしまうものです。メールやLINEの受信確認、ゲームなどを理由にスマホを見ている時間が多くないですか？辛口を意識して自分の行動を振り返ってみましょう。反省するところがあるはずです。

家庭での環境作りにプラスして、家庭の外で勉強する空間を探してあげてください。運動が続かない大人も、

スポーツジムに通うと仲間ができて運動が継続できます。同じように、家庭や学校とは別に勉強仲間がいる第三の場所を作りましょう。有料であれば塾、無料であれば図書館の自習室などがあります。ここでも東中学校の「サタスタ東」は活用できます。無料、学校内で安全、仲間がいる、サポートスタッフもいる、好条件が揃っています。第三の場所候補として試してみてください。

希望

二十七年もの獄中生活を経て、南アフリカ大統領になったネルソン・マンデラを支えたものは希望でした。人は未来への希望があるからこそ、今を生きることが出来ます。子供にも、この先に広がる新しい世界に希望を持たせてあげてください。自分次第でどんどん楽しい世界が拓けることを、子供達へ語りかけてください。

何を語りかければ良いか分からない場合は、東中学校の「サタスタ東」へ子供を行かせてください。このサポートスタッフには、高校生・大学生・社会人、文系理系と多種多様な人がいます。皆が未来への希望を持って、それぞれのステージで頑張っています。このような人達とコミュニケーションをとることで、子供も自然と将来への希望を持つようになります。

朱に交われば赤くなる。希望を持つて楽しく努力する人達と交われば、子供も同じように学習を楽しみ、挑戦する人に育っていきます。

これら三つのポイントを実行するのは、簡単なようで難しいところがあります。最初から完璧に実行できる人は、なかなか居ないのではないのでしょうか。保護者も「親」とし

て成長している途中なのです。自分
一人で全てを実行しようとせず、周
囲の人の力を借りましょう。そうし
ながら、親も学び成長していくこと
が大切です。